



わかば通信

No. 22

2007年 春号 岩手県立図書館 児童コーナー

もくじ	
1...さくら想い	
2...こころうきうき春の本	
3...図書館体験ツアーレポート	
4...4～6月の行事予定・編集後記	



春といえば桜。桜といえばお花見。ぱっと開いた可憐なピンクの花は見る人の心を動かします。花見の習慣は、平安時代に遣唐使によって伝わった中国宮廷文化のひとつだとか。当時の花見は桜ではなく梅でした。しかし、894年の遣唐使の廃止と共に日本人の外来文化への関心も徐々にうすれ、花見の対象は日本自生の花、桜へと移っていきます。平安時代あたりから貴族や武士などの上流階級を中心に行われた花見は、江戸時代の頃には広く庶民の間でも親しまれるようになりました。

岩手県人なら誰でも知っている、盛岡地方裁判所前庭にある石割桜は全国的にも有名な桜の名所ですが、興味深いエピソードがあるのでここに紹介します。

当時の模様を右の治太郎さんの長男藤村益治郎さん（五四歳）に聞いてみた。ちうどその日は、妹の結婚式の日であった。父は酒が好きで、酔えばにぎやかで、一升ぐらいいは飲んでしまふ。結婚式の前祝に飲んで酔いつぶれて、式には自分を代理にやり、父は一人で寝ていた。ところが裁判所が火事だといふので、父はそのころは消防はやめていたが、植木職であるので、「石割桜を焼いては大変だ」と、花屋町の家から飛び出した。消防手でなければ巡査が通さぬのを、くぐり抜けてはいり、着ていたハンテンを水でぬらして、幹の太いところに火花が散ると、これをぶっつけて、幹をぬらして火を消した。火花が幹にたまり、幹が燃えれば桜は助からないからである。三、四回石の上に乗ったようだが、当時すでに六〇歳に近い老人で、酒によっているうえに、石は水でぬれていたため、滑って口を石に当て、入れ歯は上六本下四本がなくなり、口からは血が出、口のあたりははれあがっていたという奮闘振り、ハンテンには口をぬぐった血が生々しくついていたという。

（千種達夫著『石割桜』より抜粋）



昭和7年に火災が起こった時、自分の体を張って石割桜を守った藤村治太郎（ふじむら じたろう）さん。石割桜は現在も様々な人々の手によって守られています。岩の割れ目から生育した桜の見事な咲き具合に、不屈の精神を感じたり、我慢強いと言われる岩手県民のイメージを重ねてみたり、花見の仕方人もそれぞれ。暖冬が明けて、今年の桜はどのような表情を私たちに見せてくれるのでしょうか？

ひな祭りなどに食べる桜餅。実は関東風と関西風の二種類があるそう。関東風は、小麦粉などで作った焼き皮で餡をくるんだものが一般的。関西風は、粗くひいた道明寺粉で作った餅に餡をすっぽりと包んだものを言う。

知っていますか？

これは関西風！



桜餅についている独特のいい香り。これは桜の葉に含まれるクマリンという配糖体芳香成分によるもの。生の葉には含まれていないそうだが、塩漬けにすることで何かの成分がクマリンに変化するという。桜餅をくるむ塩漬けの葉に使われるオオシマザクラにはクマリンが他の品種に比べ多く含まれる。

参考・引用文献 『桜信仰と日本人』 田中秀明 監修 (479.75/竹)
『石割桜』 千種達夫 著 (K/472.9/f1) ()内は、当館請求記号です。下線付きのものは、書庫にあるものですので、スタッフまで。

こころ うきうき 春の本



なんとなく、うきうきそわそわする季節。こんな季節に、読みたい本は？

※ () 内は、当館請求記号です。下線付きのものは、書庫にあるものですので、スタッフまで。

『どうしてわかるの？サクラが咲く日』七尾 純 著 (J/479/廿)
毎年発表される、桜の開花予報。意外なほど科学的なその予測方法とは？
知れば知るほど面白い、科学読みものです。

『科学のアルバム 植物6 サクラの一年』守矢 登 著 (J/408/か`/3-6)
一年間の木の変化を、写真つきで解説。少し古いですが、一年を通して桜の生育が分かる基本の一冊です。石割桜の写真も載っています。

『じいじのさくらやま』松成 真理子 著 (Iホ/マ)
じいじは山を歩きながら、さくらに話しかける。ぼくもいっしょに歩く。じいじはうれしいことがあるたびにさくらを植えた。だからここは、じいじのさくら山。

『こねこのははのひ』やすい すえこ 作 (Iホ/ヤ)
こねこの3兄弟は、母の日のプレゼントを探しにいきました。それはお魚？
お肉？何にしたのかな？



『おかあさんになるってどんなこと』内田 麟太郎 文 (Iホ/ウ)
ターくんはミミちゃんに聞きました。「おかあさんになるって...どんなこと？」それはね 。おもわずぎゅってしたくなる、あったかい絵本です。



『おかあさんがおかあさんになった日』長野 ヒデ子 作 (Iホ/低 2894)
「あなたが生まれた日は、お母さんがお母さんになった日」
お母さんが「あなた」が生まれるまでのことを語る、愛情あふれる絵本。

『なかよしガーデニング』木下 まゆみ 著 (J/620/キ)
ご近所に、お花好きのおばあちゃんが引っ越してきました。私たちも、遊びながら庭仕事をお手伝い。ガーデニングっておもしろい！

『アウトドアをたのしむ本』アンジェラ・ウィルクス 著 (J/786/ウイ)
インディアンテントの作り方、森で迷わないための道しるべの作り方など。
自然と遊ぶためのユニークなアイデアが満載です。

『野外活動おもしろ図鑑 1～10』(J/786/中 3/1～10)
野外でのゲームや料理、工作など。野外活動の楽しさを全部集めたシリーズ。

『はるをさがしに』亀岡 亜希子 作・絵 (Iホ/カ)
よ～くみてごらん、タッチの体が春(Spring)色に♥うきうきと、跳びはね(Spring)たくなる1冊。



図書館体験ツアー レポート

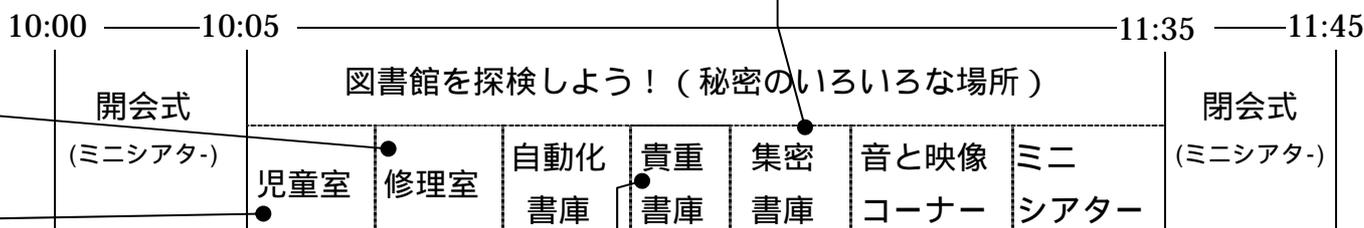


岩手県立図書館では、平成19年1月10日、27日の2日間、図書館体験ツアーを実施しました。小学生を対象とした午前の部には、10日7名、27日5名の子どもたちが参加してくれました。

図書館を楽しんでもらうこと、情報の収集に役立つ場所として実感してもらうこと、以上の2点が今回のねらいでした。

本を修理する部屋には、色とりどりの和紙や、大きな糊のビン、見たことのない形のヘラがいっぱい。その横では、いつも大切に読んでいる本が、なぜか大きな万力でプレスされています。どうして本は、こんな目に遭っているのでしょうか？…。

修復作業中のスタッフに偶然遭遇！貴重な絵図をふまえないように気をつけてね。



普段利用している児童室も、いつもより時間をかけて、じっくり、ゆっくり、見てもらいました。児童室には、みんなの知りたいことに、応えてくれるたくさんの本があることを知ってもらいたかったからです。

暗い廊下の奥には、重い扉で厳重に守られた貴重書庫が…。中には、江戸時代の人たちが書いた手紙や日記、絵図が大切に保管されています。今日は特別！みんなに中を覗いてもらいます。みんなで力を合わせて、重たい扉を開けると、そこには…!!

ツアー終了後に記入していただいたアンケートで、「つまらなかった」が0人であったことは、非常に嬉しい結果でした。「何が一番よかったですか？」という問いからは、書庫など、図書館の裏側を見学したことに強い印象を受けたことがわかりました。ツアー中も、メモを取ったり撮影をしたりして、これを自由研究の題材にしようという子どもたちもいました。また、普段から県立図書館をよく利用している参加者から、大人向けの書架の見学もしたいという意見も寄せられました。

今後は、普段あまり図書館に足を運ばない子どもにも、たくさん参加してもらえるように工夫をしながら、このツアーを続けていきたいと思えます。



書庫にて

アンケート結果

- 参加してみてよかったですか？
ア よかった・・・11 イ ふつう・・・1 ウ つまらなかった・・・0
- 何が一番よかったですか？
ア 図書館の見学をしたこと・・・4 イ 児童室をくわしく見学したこと・・・4
ウ 映写室を見学したこと・・・7 エ 本を修理する部屋に行ったこと・・・6
オ 書庫に行ったこと・・・9 カ 古い地図を見たこと・・・10
- そのほか、してみたかったことがあれば、かいてください。（主な回答）
 - ・本さがして本を見つけたかった。
 - ・3かいの、大人の人が借り方を見学したりして、しりたかった。
 - ・まんぞく。
 - ・自由研究に使いたいの、もう少し早い日にやってほしいです。
 - ・予想以上にすばらしいものを見ることができたので、私にとっては十分でした。またこんなツアーがあればぜひ行きたいです。ありがとうございました。

4月～6月の行事予定

お話し会

場所 児童コーナー おはなし室
 毎月 第2土曜日 14:30～ 手づくりかみしばいの会
 第3日曜日 11:00～ おはなし すてーしょん
 第4日曜日 14:30～ おはなしわかば

図書館子ども映画会

場所 音と映像コーナー ミニシアター
 毎月 第2・4日曜日 11時～ (10時30分開場)



	4月	5月	6月
お話し会	14、15、22日	12、20、27日	9、17、24日
子ども映画会	8、22日	13、27日	10、24日

4月 2007

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8 	9	10	11	12	13	14 
15 	16	17	18	19	20	21
22 	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月 2007

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12 
13 	14	15	16	17	18	19
20 	21	22	23	24	25	26
27 	28	29	30	31		

6月 2007

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9 
10 	11	12	13	14	15	16
17 	18	19	20	21	22	23
24 	25	26	27	28	29	30

編集後記

春をテーマにした今回のわかば通信はいかがでしたか？花粉症や五月病はこの季節ならではの悩みの種です。鼻水やくしゃみが止まらずマスクが手放せない一方で、新芽をつけた緑の木々は花粉を吹きながらもすくすくと育っているはず。昼寝に最適のうららかな気候だからこそ気持ちがフワフワとなるのでしょうか。見方を変えれば、Viva spring!(春ばんざい)というところでしょう…か？暖かい季節の到来に心弾む今日この頃です。

「わかば通信」第21号はいかがでしたか？ご意見・ご感想は下記までお寄せください

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7番1号 いわて県民情報交流センター[アイーナ]内

岩手県立図書館「わかば通信」係

TEL: 019-606-1730 FAX: 019-606-1731

ホームページアドレス <http://www.library.pref.iwate.jp/> E-mail アドレス homepage@library.pref.iwate.jp

【 わかば通信 第22号 2007年4月発行 】